

3年生 美術科の学習内容

1 美術科の学習のねらい

- ・授業を通して、進んで美術を愛好する気持ちを培い、心豊かな生活を創る気持ちを養う。
- ・感じたことや考えたことをもとに、表現する技能を身につけ、創意工夫して表現する能力を伸ばす。
- ・美術文化に対する関心を高め、よさや美しさを味わう能力を高める。

2 評価の方法

- (1) 美術への関心・意欲・態度
授業の準備・かたづけ 学習に対する態度・集中力
忘れ物・提出物の状況など
- (2) 発想・構想の能力
アイデアスケッチ、下絵など独自に工夫したこと
- (3) 創造的な技能
材料・用具の扱い方 技法を生かした表現方法など
- (4) 鑑賞の能力
ワークシート・自己評価表の記入内容 発表内容など

※美術科は定期テストを実施しませんので、授業への取り組みが評価の重要なポイントになります。

3 学習内容

	領域	題材名	題材のねらいと学習の内容	評価の観点（規準）
1 学 期 11 時 間	鑑賞	「ゲルニカ」 美術作品を鑑賞しよう	美術を通して私たちが学ぶこと、共有できるものがあることに気づく。	○ピカソの「ゲルニカ」の鑑賞を通して美術には経験を共有し、考え、行動する力があることをつかんでいる。
		「祈りの造形」	日本の代表的な建造物や仏像など文化史に重要と思われる造形美を鑑賞する。	○仏教文化の造形の美しさを学び、日本美術に関心を持っている。
	絵画	「自分と向き合う」 15歳の自分を見つめて	さまざまな表現方法を用いて自画像の制作をすることにより、自分のよさや特長をとらえ、現在の自分を見つめ直す。	○自画像として自分自身を表現することに興味・関心を持ち、自分自身と向き合うことから表現の構想を練っている。 ○自分自身の意図をよりよく表現できる技法を工夫している。
	鑑賞	「モノトーンの美しさ」	水墨画の持つ奥行きや広がり、精神性の表現をつかむ	○お互いの作品を鑑賞し、そのよさを気づこうとしている。 ○作者の表現意図や思いを感じ取っている。

<p>2 学 期 15 時 間</p>	<p>絵画 工芸</p>	<p>「3年間の思い出を屏風絵にしよう」</p>	<p>3年間の思い出を水墨画で表現し、屏風絵に仕立てる。</p>	<p>○水墨画の表現に興味・関心を持ち、時間の流れや動きを考えて構想を練っている ○水墨画の技法をつかみ、表現方法を工夫している ○友達の子作品のよさについて鑑賞し、作者が作品に込めた思いや表現の工夫を感じ取る。</p>
<p>3 学 期 9 時 間</p>	<p>工芸 デザ イン</p>	<p>「篆刻」 自分の名前を彫る</p>	<p>自分の姓名を篆刻で表現する。持つ部分をデザインし、彫刻する。</p>	<p>○篆刻に興味・関心を持ち、様々な字体を参考にして構想を練り、粘り強く丁寧に彫刻している。素材を生かした表現方法を工夫している。 ○友達の子作品のよさについて鑑賞し、作者が作品に込めた思いや表現の工夫を感じ取る。</p>